時事新報

議員の信用

今の國會議員が事あるごとに政府の處置に反對する其有樣を見れば恰も現政府の信用を損せしめ其機に乘じて自から取て代るの下心あるが如し其心掛けは敢て非難す可らざるのみならず寧ろ殊勝なるものにして苟も政治家たるもの丶覺悟は斯くの如くならざる可らずと雖も他の信用を損せしむるは即ち自家の信用を得るの手段たるを忘る可らず蓋し政治家が其地位を得んとするには先づ世間一般の信用を得ること肝要にして其信用を得るの手段として他の信用を損せしむるも亦自から一法なれども既に自家に於て十分の信用あるに非ざれば他を損するの手段も亦無效ならざるを得ず例へば茲に二人の商賣競爭者あらんに一方の爲めに謀れば己れの品物を賣廣めん爲めには種々の言を設けて他の品物の不廉なることを揚言し其信用を損せしむるも自から一法なれども商賣は世間を相手にするものにて商人同士雙方の關係のみに非ざれば愈々全勝を收めんとするには他の信用を損せしむるに先ち自から其品物を選み又その價をも廉にして十分に一般の信用を博するの覺悟なかる可らず若しも然らざるに於ては他の信用を損すると共に自家の信用をも損して遂に共倒れと爲るか或は他を傷くる能はずして却て自から倒れざるを得ず智者の事と云ふ可らざるなり議員の擧動を見るに只管政府に反對し新奇の事業は一切委任する能はずとて其豫算を削除し些末の事にても苟も政府の落度と見ゆるものは之を棒大にして事々しく質問を試み彼の震災に關する臨時支出さへも金額には異議なきも其手續に故障ありとて故らに怪智を付るが如き其信用を損せしむるの手段に於ては寸分も拔目なきが如くなれども扨顧みて自家の信用を博するの一段に至れば全く反對にして其注意の粗なるに驚かざるを得ず地租輕減并に地價修正の如きは今の議員の熱心に主張する所にして其言ふ所を聞けば農家の負擔を減じ民力を休養する云々とて專ら民間の歡心を買はんとするの積りならんなれども苟も經國の大計上より見れば此説の取るに足らざるは何人も承認する所にして假令ひ衆議院の多數が之を議決するも其實行は到底望みなかる可し果して然るときは其歡心を買はんとするの口實も永く人望を繫ぐ能はずして却て信用を損するの結果なきを得ず方略の安全なるものと云ふ可らず是れは注意の足らざる一例に過ぎざれども議員の多數が自から其信用を損して顧みざるの擧動は更に驚く可きものあるを見る可し元來一般の世人が議員に望む所のものは政府に反對して樂まんとするにも非ず政黨を經營して爭はんとするにも非ず唯商賣社會の安寧を妨げずして人々その堵に安んじ農商工の別なく之が爲めに潤澤して世の不景氣を挽回せんとするに在るのみ即ち議員の信用も此邊より生ずることなれども從來の例に徵すれば其擧動は啻に商界の安寧に注意せざるのみか寧ろ益々その不景氣を促さんとするの跡なきに非ず前期の議場に於て郵船會社及び鐵道會社の補助金を廢せんと試み本年の豫算會議にも亦同樣の議を發したるが如きは即ち其適例にして我輩は殆んど其意を解するに苦しむものなり蓋し其精神に於ては強ち商安を害するの惡意あるに非ず矢張り政府攻擊の一手段なりと自から認るならんと雖も補助金の廢止は單に政府と會社とを苦しむるに止まらずして之が爲めに幾百千人の株主に迷惑を掛け延いて一般の不景氣を引起す其影響は非常のものにして結局その責は議員に歸せざるを得ず此邊の意味をも玩味せずして容易ならぬ言を容易に發する如き次第にては到底一般の信用を得ること難かる可し聞く所に據れば今度政府より提出したる鐵道買上の議案に就ても議員中には反對の意見を抱くもの少なからざるよし其案に現はれたる理由と關係とに就ては隨分議論の點もある可し我輩に於ても聊か說なきに非ざれども今日の實際に於て鐵道の始末は經濟上軍事上何れの點より見るも其儘に捨置く可らざるものにして若しも政府より提出せざりしならば民間の輿論は必ず議會を促して其始末を議せしめたることならん即ち目下の急に當りて何れなりとも其始末を付けざるに於ては鐵道の株券を抵當に金を出したる全國公私立の銀行等は順次に破產して之が爲めに一般の大不景氣を來たし商賣社會の慘狀をます〳〵甚だしきに至らしむ可きは誠に睹易き所にして既に各地の商工は過般以來續々請願書を議院に呈し又下流の勞働社會の者までも大に之を憂ひ若しも議會に於て鐵道買上の事を否決せば我々共は全く仕事を失ふて餓死せざるを得ず坐して餓死するよりは寧ろ云々す可しとの意味にて議員に書を與へたるよし其眞僞は知る可らずと雖も以て一般の人氣を推知するに足る可し左れば議員たる者は今日に當り早く心事を一轉して民の實利益を保護するの工風こそ肝要なれ議員自身の利害の爲めに大切なる事なり全體を云へば政府に於て未だ案を提出せざるに先ち議會より早く鐵道買上の議を決し政府に向て注意を促し暗に其緩慢を責むるなどは人氣を取るの手段として最も妙なりしなれども今日の處は唯速に政府の意を贊成して其功を分ち以て自家の信用を固くするの一法あるのみ既に世間の信用をさへ得れば他の不信用を云々して其機關に乘するが如き左まで難事にあらざる可し我輩は議會に向て其前後緩急の分別あらんことを勸告する者あり

雜報

○歐洲列國の關係　露國外務大臣ド　ギール氏が歐洲列國を歷訪したるは如何なる用向ありしが爲めか始め伊太利に於て皇帝及び總理大臣に面會し去て佛國に於て大統領內閣議長及び外務卿に會し夫より獨逸に赴むきたり就ては歐米の諸新聞紙は種々の說を傳ふる中に氏が既に伯林に着したる後同府駐在の英國大使より本國外務省へ通知したる所にして事實恐くは間違なかるべしと云へる倫敦十一月二十七日發の報を見るにドギール氏は獨逸其他歐洲の列國をして露國と佛國の關係如何を粗ぼ知らしめんが爲め本國皇帝の命を受けて歷訪するに疑ひなきもの丶如し而して氏は既に伯林に着して其關係及び今度巴里に於て佛國の當路者と會議したる模樣を獨逸皇帝及び宰相カプリヴィ將軍に告知したり其告知の概略なりと云ふを聞くに露佛の間は今度氏が巴里に滯在中大統領以下內閣員との會議に於て彌々外寇防禦を與にせんと決定したれども然れども其同盟は三國同盟に比しては大に異なる所あり三國同盟は今の有樣を其儘に維持して歐洲の平和を希望するの目的なれども露佛の間の約束は露國の爲めにはバルガリヤに於ける同國の權力を恢復し佛國の爲めには英兵をして埃及を撤去せしめんとの約あり左れども此約束は諸共に一致の戰爭して目的を達すべしと云ふにあらざ兩國共に無事を望むの心は一なるが故に平和を目とし只だ現在の列國間條約を嚴重に行はれしめんとするに在るのみ但し此約束を充分效能あるものとし依て以て列國に對するの政略を施さん爲め佛國內閣員は記名調印の約束書を取交さんとの希望あれども未だ如何なる條約書へも調印したることなしとの意なりしよし

○ビスマーク侯の國會に出席する時期　去月十四日伯林發の報に據れば國會は來る十七日開會の筈なれどもビスマーク侯が之に出席する期日は未だ判然せず侯は健康上大に注意せざる可らざるを以て醫師の許可を得る迄出席を見合はす筈なりと

○ビ侯を歡迎す　ビスマーク侯は去月十四日ヴアーセインよりフリードリヒスルへの居邸へ歸る途中伯林に立寄りしに平生、侯を敬慕する人々は停車場に待受けて歡迎の意を表しければ侯は喜んで是等の人々と握手したり斯くて侯の乘りたる列車の進發するに及んで群集の人々は「伯林に歸れ」「國會に歸れ」と叫びたりとぞ

○大隈伯と軍事鐵道　大隈伯が國有鐵道に反對なるは兼て聞く所なるが近頃世間に鐵道買上論盛んなるより無下に之を否決するも得策に非ずとて特別繼續委員に附托して政府の該法案を握潰すべきことに方寸を定めて板垣伯にも說きたりとの趣二三の新聞に見えし所より軍人社會にては頻りに憤慨して國防と鐵道との關係を論ずる向もあるよし

○俸給及び諸給の削減　二十五年度の豫算に於て政府と衆議院の衝突するは所謂既定の歲出にして衆議院內の形勢の一變するも亦政府が此の既定歲出削減に對し不同意を表したる其時にあるなるべし而して既定歲出中俸給に關し渡邊大藏次官が先頃の豫算委員會に於て政府を代表して述べたる處を見るに大臣以下一官一職に就き特に俸給額を既定しあるもの丶削減に向ては政府は同意を表する權利なく又屬官の平均俸給額を遞減したるものに向ては同意を表し若くは表せざるの權利あれども政府は實際上より同意を表せず云々とあれば政府は既定歲出に關し噂の如く情なく議會の要求を撥付くべきや、議會の多數は不同意なりとの一言に應じて折角の企望を自から水泡に歸せしむるや、廿五年度經常部豫算に對し査定案は四百廿八萬五百卅二圓九十三錢七厘を減じたるものなれども其中俸給諸給の項下に屬する削減額を積算すれば實に二百十二萬千四百十九圓三十四錢二厘にして總減額の半分は俸給及び諸給中の削減に出でたる勘定なれば若し此の削減にして政府の不同意なるが爲めに全く節減すること能はざらんか經常部の削減額は二百十五萬餘圓となる其上に既定歲出は單に俸給諸給のみにあらざれば終には眞正の削減額、案外少なき樣のことなかるべきや兎に角「俸給及び諸給」の項に就き二十五年度の要求額より査定案の減少せし金額(甲)と二十五年度要求額と二十四年度決定額との增減金額(乙)とを揭げ又此の甲乙の兩金額を併加し若くは差引して新査定案の經常部俸給及び諸給は二十四年度の同科目決定額より幾何の金額を減少し居るかを示して讀者の參考に供せん(尤も各省の下に◎印あるは前記の乙、※印あるは前記の甲にして又二十四年度の決定額より二十五年度要求額の增加せしは陸軍、海軍、農商務、遞信の四省のみなれば此の增加の分には增の一字を付せども其文字なきものは何れも總て減少せしものと知るべし)

外務省	◎		二六、一七七、六六一
	※		七四、四二三、〇〇〇
內務省	◎		八四、四〇六、〇六一
	※		六六一、五四七、〇〇〇
大藏省	◎		二一、六四九、一三七
	※		三九八、八三六、〇〇〇
陸軍省	◎	增	八五、四一〇、〇二九
	※		一六〇、八〇七、三三〇
海軍省	◎	增	七、三七三、四五七
	※		一四九、九九六、七八四
司法省	◎		一三九、一六四、九三八
	※		四二六、六八〇、二二八
文部省	◎		一三、三九四、七九四
	※		二六、九七〇、〇〇〇
農商務省	◎	增	三七、〇七四、四一三
	※		一〇三、四三二、〇〇〇
遞信省	◎	增	八八、一一八、六五六
	※		一一八、七二七、〇〇〇
總計	◎		六六、八一五、九九一
	※		三、一二一、四一九、三四二

○和歌山の鐵道買上請願　同縣下に
願に就て近頃頻りに奔走し居るよし

○大坂商工協會の鐵道買上請願　同
古畑虎藏の兩氏は昨十七日上京した
せる鐵道買上請願書は調印人數凡そ
池平瀨の諸氏を始め重立ちたる實業
と云ふ

○甲信兩國の有志　鐵道問題に關し
有志者は昨十七日夜日本橋俱樂部に
りと

○一昨日の東京市會　一昨日午後四時五
長遲刻の故を以て芳野氏議長席に就
麟祥院住職より湯嶋龍岡町の內二百
市へ上納したる旨を報告せしめ直に
員に附托せし諮問第三號(芝車町海岸
査の結果を報道したり其要領は同地
益に使用するならば格別私益のため
は不可なるのみならず同所は即ち物
ても狹隘なる箇所なれば到底許可せ
に於て決議したる旨小嶋委員說明の
採決せしに大多數にて可決し次に第
國の內龍岡町使用料の件」の第二讀
の使用料の修正說は多數にて可決し
公園第七區內燒失跡地使用料免除の
削除し其他は元案に決して續て第八
治二十四年度歲出入追加總計豫算金
十七號(區役所敷地購入金寄附の件
八十六錢四厘)第八十四號(東京市水
歲入出追加總計豫算金二千百八十七
の四議案は異議なく可決し第八十五
助費支出の件金二萬五千圓)は宇川
て五名調査委員を設け同委員に附托
に決し委員に當撰せしは宇川盛三郎
三郎、小川三千三、端山友治の諸氏な
號(東京市二十四年度歲出入追加總計
前議案と關聯するに付議決を延期す
通議案は議了したるを以て楠本議長
したり)は第三號より十號迄の決算
報道を待て開會する旨を告げ閉會せ
しと

○磐城の自由黨と同志會　同地方
の擴張に盡力するもの甚だ稀なり
黨に加盟するもの多く今回自由改進
る處へ東京より來りて誘說するもあ
て益々隆盛に赴くの感あり加ふるに
も亦黨勢擴張の模樣あれば爾後兩
の光景を添ふるならんと云ふ

○上州鐵道發車時刻(上野高崎前橋間)　上野發　午前六時、八時五十分、十一時四十分、午後二時四十分、五時四十分●高崎發(下り)　午前九時十九分、午後零時十五分、三時九分、六時九分、九時九分、○(上り)　午前六時二十分、九時十五分、午後零時十二分、三時十二分、六時十一分●前橋發(上り)　午前六時、八時五十五分、十一時五十分、午後二時五十分、五時五十分

○山ノ手線道發車時刻(新宿赤羽間)　新宿發(赤羽行)　午前九時十分、

分、十一時十四分、午後四時十九分、七時十五分○上り(小山へ)　午前五時十分、七時十分、十一時十七分、午後三時七分、七時三十分●前橋發(小山へ)　午前六時十分、十時十分、十一時十五分、午後二時、六時三十分

○水戶鐵道發車時刻　小山發(水戶へ)　午前六時十分、九時十五分、午後二時十五分、五時二十分●水戶發(小山へ)　午前六時二十分、午後二時、四時五十五分

○日光鐵道發車時刻(宇都宮日光間)　宇都宮發(日光へ)　午前五時二十

午後一時七分、四時三十二分、七時五十二分○(上り)　午前七時十四分、十時三十四分、午後一時四十九分、五時十九分●直江津發　午前七時、十時二十分、午後一時四十五分、五時五分

○上野青森間發車時刻　上野發　午前六時三十五分(盛岡迄)八時五十分(宇都宮迄)十一時三十五分(福島迄)午後二時四十五分(青森迄)五時四十五分(宇都宮迄)●宇都宮發(下り)　午前六時十分、九時、午後零時三分(福島迄)六時二十二分(青森迄)○(上り)

上野迄)十一時四十八分(白河迄)午後四時三十五分(青森迄)午後三時二十分(上野迄)○(八ノ戶)發(下り)　午前五時三十分、午前八時五十分(仙臺迄)午後三時二十分(上野迄)○(上り)午前九時四十五分(上野迄)午後五時三十五分

○仙臺鹽竈間發車時刻　仙臺發　午前六時十分、